

成田財特法、NHK 予算案審議にあたっての確認

[議事録 1/3]

・成田空港を巡る諸課題への対処と空港周辺地域整備計画

吉川沙織君

民主党の吉川沙織でございます。

本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

いわゆる成田財特法による財政援助の期限、昭和45年の法律制定以来6度の延長を経て、平成25年度末、つまり今月末までとなっています。成田空港周辺の整備については、同じ昭和45年策定の成田財特法に基づく成田国際空港周辺地域整備計画も平成25年度を期限として、事業費合計約4,825億円の事業が実施されています。



今回の法案は、千葉県と成田空港周辺の市町村が道路や下水道など整備をする際に、国の補助率のかさ上げ措置など、平成26年度の発着枠拡大、これ今現在27万回ですが、30万回にする。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控えて、空港利用者の伸びが予想されるため、支援の継続が国として不可欠だという判断の下、成田財特法の期限をいま一度延長して、平成30年度まで5年延長しようとするものです。

平成26年度からの新たな空港周辺地域整備計画においては、その中で、国と県と市町村などの財源負担の在り方も今後の課題になるとを考えますが、総事業費については幾らでしょうか。

政府参考人(佐藤文俊君)

現行の空港周辺地域整備計画の総事業費は5,668億円となっております。

今回、法改正がなりました場合には、地元からは7件の道路事業を追加したいという要望があります。これを追加いたしますと、計画の総事業費は5,720億円となる見込みでございます。

吉川沙織君

今、これからの計画に掛かる総事業費は5,720億円、これぐらい掛かる、こういう御答弁をいただきました。

また、昭和45年に空港周辺地域整備計画が策定されてから、まだたちませんけれども、いずれ50年近く経過することになります。この計画によって新設された施設の耐用年数、これらを考えますと、改修なども必要になる。また、新設と改修の割合を今後の計画でどう考えていくかということも考えながら、この計画を進めていかなければなりません。

ある意味では、この計画というのはエンドレス、こういう考え方もできると思いますが、局長、いかがでしょうか。

政府参考人(佐藤文俊君)



今後、整備計画に盛り込む予定の事業は、今回5年の法律の期限の延長をお願いしておりますが、この平成30年度までには完了する予定であります。まずは、我々としては、今回の5か年間の延長によって整備計画を着実にその中で実行してもらいたいというふうに考えております。

ただし、今回お願いしました5年間の期間満了後の取扱いについては、その時点で空港整備の動向などを見ながら判断する必要があると考えております。

吉川沙織君

今、30年度末の5年間の延長ということを伺いました。と同時に、その後の御答弁の中では、その時点での整備の状況、そして、その結果また判断をされるという、こういう趣旨にも受け取れました。

ということは、取りあえず5年また延長する、時限立法として延長するけれども、またその先も見据えながら、5年後にももう一回この議論がなされるという解釈でよろしいでしょうか。



政府参考人(佐藤文俊君)

そのとおりでございます。

吉川沙織君

では、これに関連して伺います。

今回の法延長に伴って整備計画に新たに盛り込まれる事業には、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催はもう予定されています。このオリンピック・パラリンピックの関連整備も入っているんでしょうか。

政府参考人(佐藤文俊君)



今回新たに整備計画に盛り込みたいと地元が言っている事業は 7 本の道路事業でございます。この事業は、オリンピックの開催が決まったということを直接のきっかけとするものではありません。

ただし、現在、国土交通省におきまして、この東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定されたこともあって首都圏空港の更なる機能強化を検討しております。したがって、今後この検討結果に基づいて成田空港の更なる機能強化の具体策というのが出てきて、それに伴って周辺の公共施設の整備が必要となるということは考えられます。

吉川沙織君

一つ前の質問の中で、この計画はある意味ではエンドレスでしょうかという問い合わせさせていただきました。オリンピック・パラリンピックの開催は 2020 年であって、5 年よりもまだ更に先のことです。5 年後、平成 30 年度までこの法律が更に延長されて、でもその延長の先にはオリンピック・パラリンピックの開催が控えています。ということは、もう一回延長する見込みがそこからは立つ可能性がありますが、そういうことでよろしいですね。



政府参考人(佐藤文俊君)

現時点において更にその後の話というのは我々できませんが、その 5 年間の満了を見る段階において、先ほど申しましたように、空港整備の動向を見ながら必要性の判断をし、またお願いするかもしれません。

吉川沙織君

この議論、5 年前もこの総務委員会でなされましたし、今回のこの法案についても全会一致でございます。国として支援が必要であるということ、そして期限内完了が困難な事業が残されている以上、時限立法として延長するのは当然の措置だと思いますが、できる限り今予定されているものが 30 年度末に完了して、今度の延長をするかしないか、もう一度この総務委員会で議論がされることになるかどうかは分かりませんけれども、整備が進んで、千葉県にとって、成田空港周辺市町村にとってより良い事業が進むことを期待しています。

続きの議事録(2/3)は、[こちら](#)です。